

< 「過ぎてしまえば一番幸せ」期：「クタクタでもワッハッハ」編 - 2 >

対象(時間): 3~6歳児の親(110分程度)

ちゃんがするっ！ ~自我の芽生えと親の思い~

【ねらい】子どもの思いに寄り添い、自主性を伸ばすために、親がどう支援すれば良いかを考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、(必要に応じて、模造紙、フェルトペン(裏写りのしないもの)など)

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
：	名札付け(来た順に)	全員が名札をつける。(ニックネーム可)	
：	ファシリテーター(学習支援者) 自己紹介、主旨・ルール等説明	和やかな雰囲気づくりに配慮する。 写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)	スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
：	アイスブレイク(雰囲気づくり) 「誕生月日でチェーンづくり」 ・生まれた月日の若い順に一重円に並ぶ。(声は出さず、手振り身振りで。) ・並び終わったところで、正しく並ぶことができたか確かめあいながら、自己紹介をする。	初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 アイスブレイク(雰囲気づくり)の最後に、必要に応じて、数グループに分ける。	・机を撤去 ・グループ数に応じて、机を配置
：	<マンガを読んで考えましょう> 黙読 ワークシートの記入(P2, P3上)	役を決めてセリフを読んでもよい。	
：	意見交流 答えを発表し合う。 フリートーキング	三つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。(パス有り)	
：	<考えましょう、出し合ひましょう> ワークシートの記入(P3中・下)	それぞれ1つの枠に書いてもらう。(残りの枠は、グループの他の人の意見を記入する。)	
：	意見交流 答えを発表し合う。 フリートーキング	子どもの気持ちを理解しながら、親の気持ちをどう伝えればよいかを考える。 時間があれば、話し合った中味(親の気持ちを上手に子どもに伝える方法など)について模造紙にまとめる。	
：	読んで考えましょう 【参考】「県民の声」(P4)を読む。	時間があれば、模造紙にまとめたものを、各グループから発表する。	
：	<学習を振り返りましょう> ワークシートへの記入 ファシリテーターの話	時間があれば、県民の声も読む。(県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく、いろんな意見があるということを示すためのもの)	
：	終了・片付け アンケート記入	参加者全員で行う。 アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰

メモ